青森県総合流通プラットフォーム 「A！Premium（エープレミアム）」
令和６年度の取組実績

令和７年４月２２日

青森県
Aomori Prefectural Government

ヤマト運輸

1　本内容のポイント

「A！Premium(エープレミアム)」とは
　青森県とヤマト運輸(株)との連携協定※に基づく輸送サービス。
　青森県産品を新鮮な状態で国内外へ届けることを目的とした「スピード輸送」と「保冷一貫輸送」を両立させているのが特徴で、平成27年からサービスを開始した。

●令和６年度の国内・海外を合わせた利用実績は、前年より減少したものの、海外の利用が回復傾向にあり、過去２番目の規模。また、関連取引を合わせた実績は、前年度に引き続き２万個を超え、堅調に推移している。

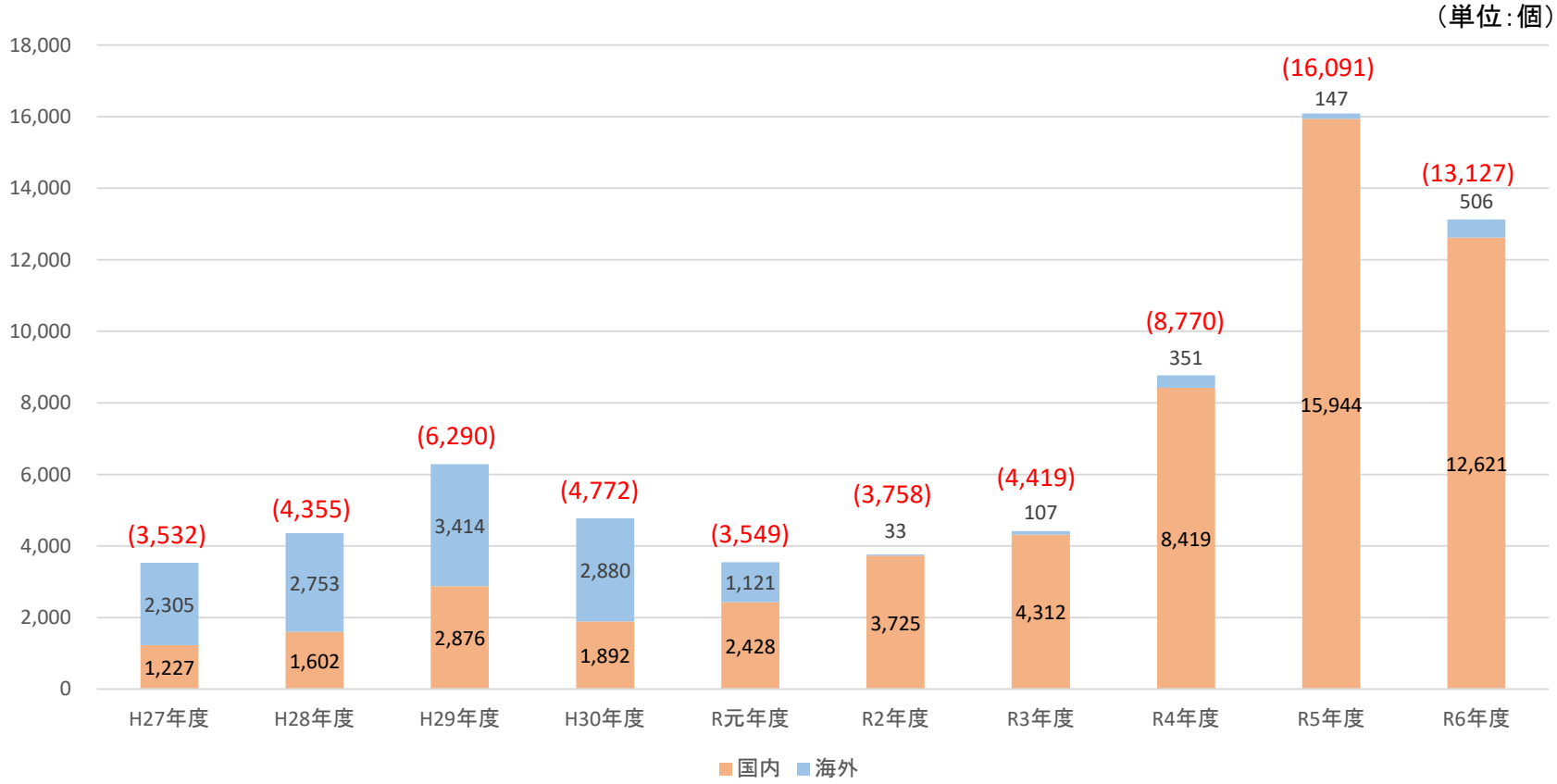
●令和７年度は、航空路線「青森ー伊丹便」を活用した輸送により西日本への翌日配達が復活する予定で、新たな需要発掘につながることが期待される。

※　国内外における青森県産品農林水産品等の流通拡大を物流面で支援することを目的に、物流コストの縮減と付加価値の高い物流の実現をめざした「青森県総合流通プラットフォーム」を構築することを目的に、平成26年7月24日に初めて協定を締結(令和元年3月、令和6年3月にそれぞれ協定を更新)

２－１　令和６年度利用実績

過去２番目の利用実績、さらに海外への発送個数は前年の約3.4倍増！

- Ａ！Ｐｒｅｍｉｕｍは、近年、大手回転寿司チェーンの全国フェアの利用で、県産ホタテの輸送に活用されている。令和６年度は当該フェアの期間短縮により出荷個数が減少したものの、13,127個（前年比80%）と過去２番目の利用実績であった。
- 大阪分室の営業努力もあり、上記取引以外の出荷個数は年々増加傾向。海外の利用も回復基調にあり、海外発送個数は前年比3.4倍と増加した。



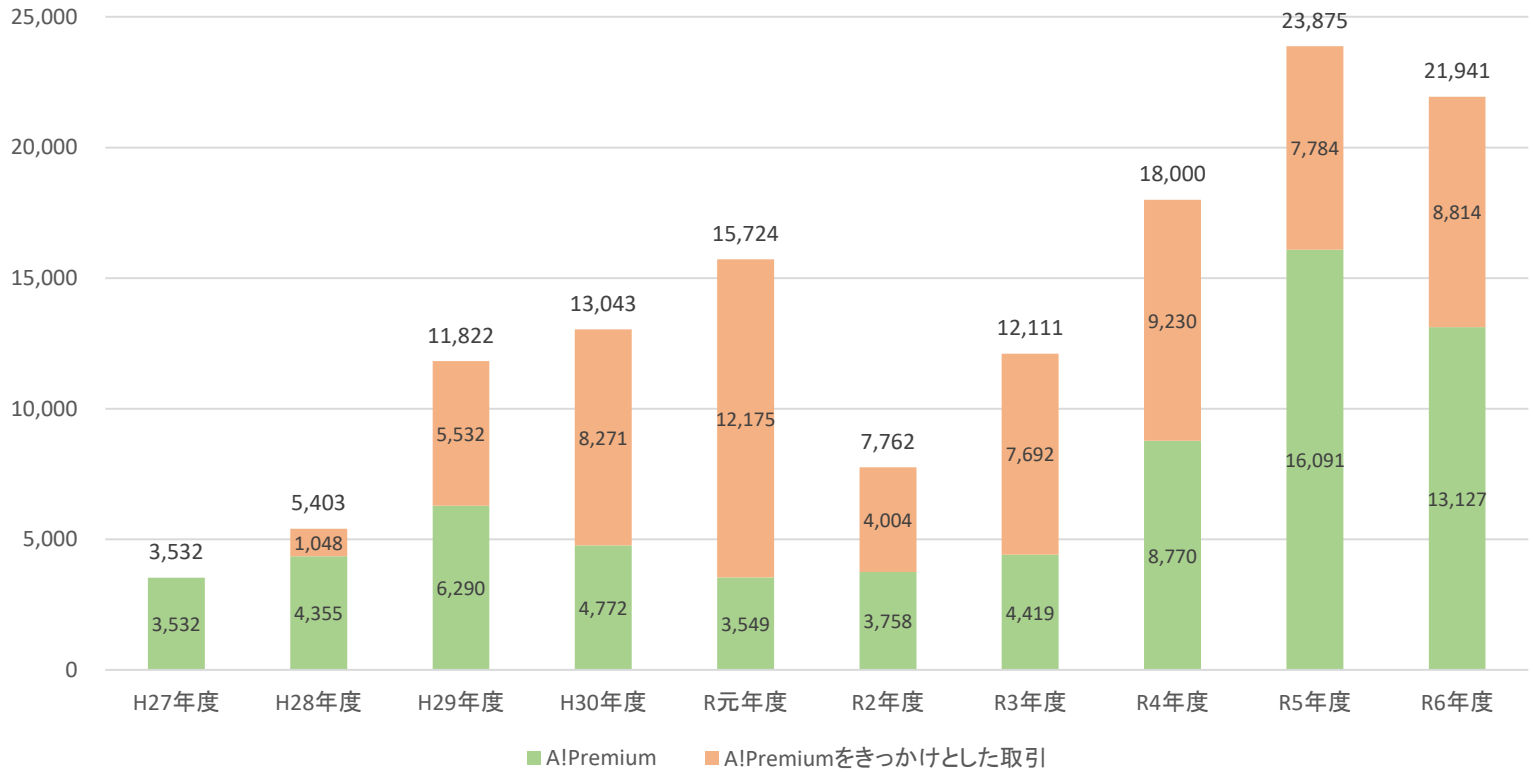
２－２　令和６年度利用実績

A！Premiumをきっかけとした取引を合わせた発送個数は２万個以上！

A！Premiumをきっかけとした取引は8,814個（前年比113%）と増加。

- A！Premiumと、A！Premiumをきっかけとした取引を合わせた利用実績は**21,941個**で**前年度同様2万個以上を維持。**

（単位：個）



※上図の「A！Premiumをきっかけとした取引」とは、アンケートにより調査した、A！Premium利用促進のための営業活動をきっかけに始まった取引であり、 A！Premium以外の輸送手段で運ばれた荷物の個数をいう。

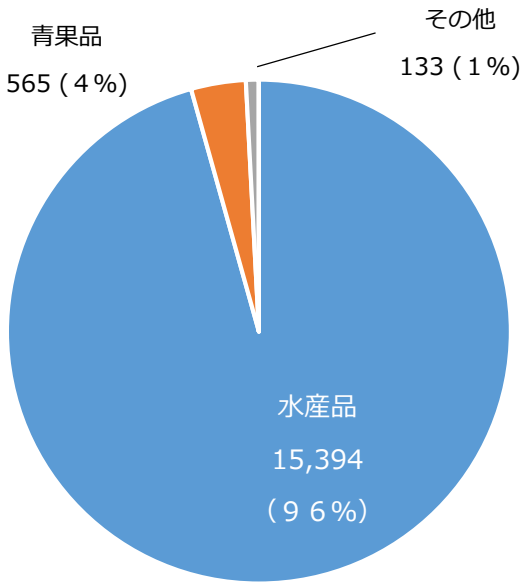
２－３　令和６年度利用実績

水産品の取引が主軸

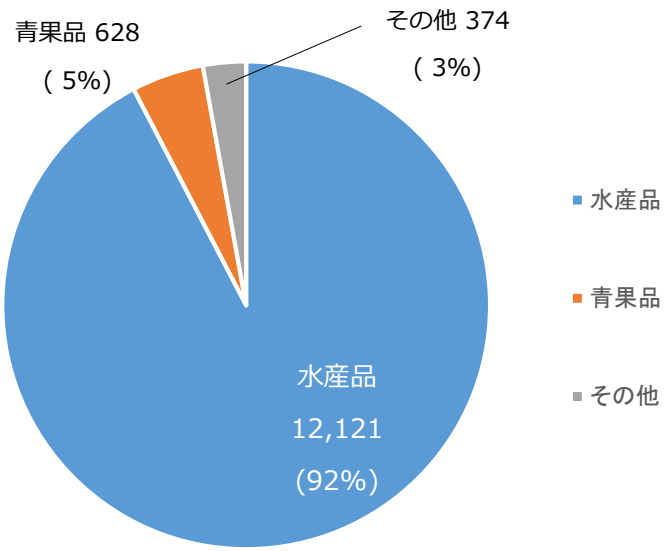
- 品目別の利用実績は、「ホタテ」や「ムール貝」、「ホッキガイ」、「サーモン」等の水産品が**全体の約９割を占めている。**
- 青果品については、「桃」「嶽きみ」「大鰐温泉もやし」等で利用されている。

Ａ！Ｐｒｅｍｉｕｍ品目別内訳

令和５年度（16,091個）



令和６年度（13,127個）



３－１　令和６年度の取組例（国内販路の開拓・拡大策）

【営業活動】

- Ａ！Ｐｒｅｍｉｕｍの一層の利用促進に向けて、県職員３名が西日本展開の拠点として大阪市内に駐在し、飲食店等へ積極的に営業活動を実施した。
- 西日本エリアの飲食店へ訪問営業するとともに、本県への産地訪問や青森ならではのフェアやイベント開催を働きかけ、販路拡大や青森県産品の知名度向上に向け取組を行った。

【訪問営業の仲介・同行】

- 食材を提供する本県のサプライヤーが西日本において個別商談を行う際の仲介・同行も継続して実施した。
- 令和６年度は**６社**の県内事業者が、**延べ２０社**の西日本の飲食店等と個別商談を実施し、県産食材の認知度向上に係る取組をサポートした。

【産地訪問】

- 県産品の取引に関心を示す飲食店等が産地を訪れ、県内事業者と個別商談を行う取組も継続実施。令和６年度は**１１社**の飲食店等が青森を訪れ、**延べ８７社**の県内事業者と個別商談を実施し、多くの取引につながった。

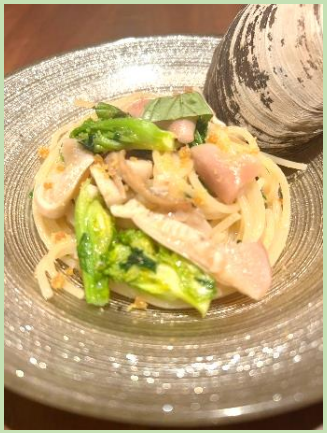
県外飲食店等関係者による産地訪問
（写真上：酒蔵視察、写真下：青森カシス圃場）

３－２　令和６年度の取組例（国内販路の開拓・拡大策）

産地訪問をきっかけとした西日本でのメニュー展開

「Trattoria La Voce（トラットリア ラ ボーチェ）」

・京都市のイタリアンレストラン「Trattoria La Voce」では、京都美食めぐり2025春に際して青森フェアを開催。シャモロックやホッキガイ、サーモン、タラ、雪下人参等の食材を活用したメニューを提供。



「釣船茶屋ざうお難波本店」

・大阪市難波の海鮮居酒屋「釣船茶屋ざうお難波本店」では、令和６年８月から９月にかけて青森フェアを開催。ホタテや嶽きみ、メロンを中心とした食材を採用し、国内外の夏休み中のお客様に好評だった。

「海鮮うまいもんや磯之家」

・鹿児島市の居酒屋「海鮮うまいもんや磯之家」では、８月に青森フェアを開催。スルメイカやキンキ、嶽きみ等を使ったメニューを提供。

４－１　令和６年度の取組例（海外販路の開拓・拡大策）

香港に向けたプロモーション

１．香港Food ExpoPROへの出展

前年度に引き続き、令和６年度も香港Food Expoへ出展し、高鮮度で運ばれた水産品や青果など２２品目の商材を展示。２万人の来場者へ本県食材の魅力とＡ！Ｐｒｅｍｉｕｍのサービスを PR。

青森産品を試食提供

青森県ブース内には商談スペースを設け、試食して気になった商品をその場で商談。ブースは常に埋まっているほど人気であった。

２．香港のミシュラン２つ星レストラン『Arbor（アーバー）』による産地訪問・フェア

９月にArbor（アーバー）のシェフが産地訪問を行った。

帰国後にはメニューを考案し、11月にＡ！Ｐｒｅｍｉｕｍで輸送した県産品を活用した料理を提供した。

ホタテやサーモンを使用したメニューは好評で約2か月間提供された。

エリック・ラトゥー氏（シェフ）
大間漁協を視察

長芋の圃場を視察

４－２　令和６年度の取組例（海外販路の開拓・拡大策）

フェアやイベントなどを活用した海外販路開拓・拡大の取組

１．香港プロモーション

①香港MUJI店舗において、青森りんごなどの青果品フェアを６日間開催した（１月）。
春節間近ということもあり、りんごなどの果物、ニンジン・長芋などの野菜の需要が多かった。
フェア期間中の前半でほとんど品切れになるほど好調だった。

広いスペースを借りて販売

②香港CitySuper６店舗において、青森県産品フェアを２週間開催した（２月）。
青森県産の冷凍海産物８種やりんご、りんごジュースなどを販売。ベビーホタテ、イカ、タラなど販売は好調だった。

海産物を中心に販売

２．シンガポールプロモーション

２月に現地ミシュラン店『Indocafe』において、青森県から出荷した活ホタテを使用したディナーが振る舞われた。
ホタテのサイズは小ぶりだが、むつ湾ならではの味の濃さと、この時期ならではの卵付きで、シェフや来場者からは大好評であった。

タイのミシュランシェフ『Prin』氏によるお振舞

貨物専用機（フレイター）を活用した青森空港トライアル運航を実施

・ヤマト運輸では、トラックドライバーの時間外労働の上限規制により、物流の停滞などが懸念される物流の２０２４年問題の解決策の１つとして、令和６年４月より貨物専用機(フレイター)の運行を開始した。
・現在、「成田・羽田から新千歳、北九州」、「成田―那覇―北九州」で就航しているところ、青森空港での定期就航の可能性を調査するため、令和７年１月３０日に「新千歳―青森―成田」のトライアル運航を実施した。

当日は雪の降りしきる中での検証となったが、機材の遅延や欠航などもなく、グランドハンドリングを含め全て予定通りの運航を行うことができた。

５－２　令和６年度の新たな取組

青森ー伊丹便を活用した新たな輸送ルートの構築へ

・令和元年までの航空機輸送は、保冷機能付きコンテナが搭載可能な中型以上の航空機を利用していたが、新型コロナウイルスの影響により減便となり、航空機での輸送が困難となった。
・青森―伊丹線で運航されている小型航空機のスペースを活用するため、ヤマト運輸は令和5年度に**専用保冷資材**を開発した。
・令和6年度は、令和7年度中の西日本への翌日配達復活に向け、**青森－伊丹便の航空機に新たに専用保冷資材を搭載した**検証を行った。

《令和6年度の検証結果》
＊総検証回数：**99回**（西日本向け翌日便：88回、西日本向け当日便：2回、沖縄向け翌日便：7回、沖縄を中継した離島への翌日便：２回)
＊トライアル輸送の総出荷箱数：**368箱**、出荷協力事業者：**17事業者**

⇒　**本結果を踏まえ、令和7年度にＡ！Ｐｒｅｍｉｕｍの強みである「高鮮度・スピード輸送」を生かした西日本翌日便を復活させる。**

小型航空機にも搭載可能な専用保冷資材（コールドカバー）

青森ー伊丹便を活用し、航空機輸送を行う

西日本翌日便復活に向けたトライアル輸送を活用し、京都での試食会を開催

・野辺地町のホタテ養殖事業者（喜代福丸）にご協力いただき、出荷や青森空港までの輸送の流れを撮影し、メディアを活用した告知を行った。
・京都市で割烹風のイタリアン料理を提供している『リストランテ野呂』を貸し切り、試食会を開催。試食会には喜代福丸から輸送した活ホタテのほか、嶽きみ、かぼちゃ「新時代」、野辺地葉つきこかぶ、小川原湖天然ウナギ、生イカなど翌日便で配達した食材を調理し提供した。

《試食会の趣旨》
①県内サプライヤーへ向けた航空機を活用した翌日便復活の告知
②西日本バイヤーに向けた試食会を活用した青森県産食材の紹介
③翌日便を活用した高鮮度着荷のPR

⇒　当日参加したバイヤーからは、商材の鮮度や品質の高さが大変好評だった。
試食会後には新たな取引にも繋がった。

メディアを活用した告知

試食会の様子

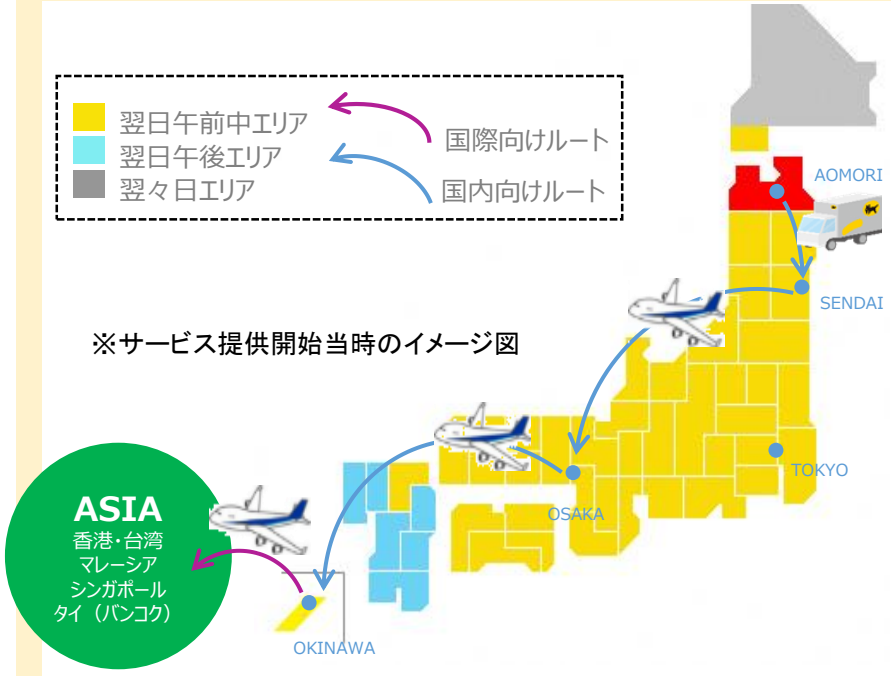
試食提供された食材

６－１　Ａ！Premiumの輸送スキーム（これまでの変遷）

サービス提供開始～令和元年12月まで

●青森から仙台空港までトラック輸送後、仙台空港 ー 伊丹空港間をクールコンテナにて航空輸送し、大阪から各地に向けてトラック輸送するスキーム。
●通常、翌々日配達の中部・関西から九州（鹿児島県）までを翌日中に配達することが可能となった。

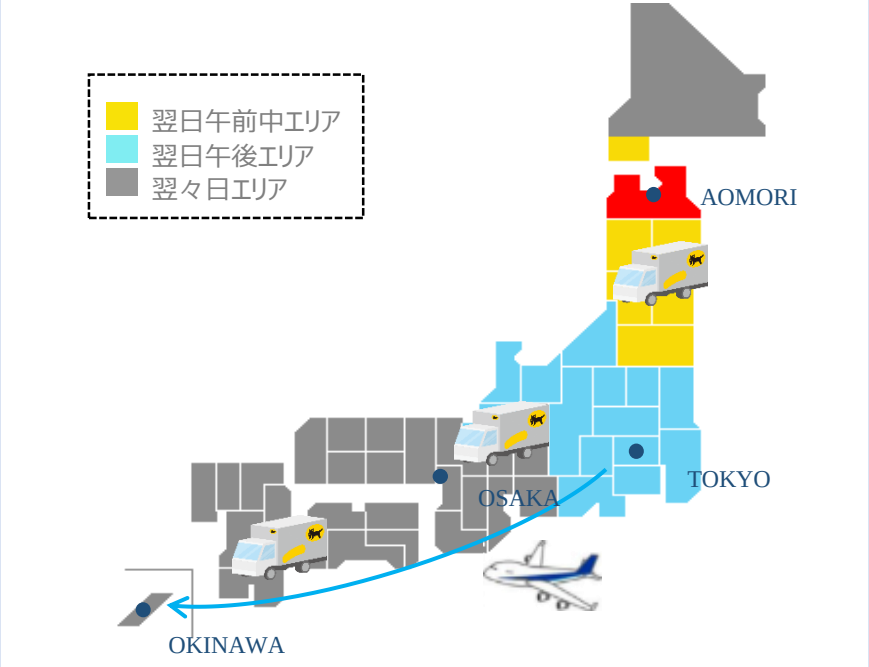
⇒西日本、海外への輸送で優位性を発揮



令和２年１月～令和７年４月まで

●新型コロナウイルスの流行による航空路線の減便・機材小型化の影響を受けてＡ！Ｐｒｅｍｉｕｍ臨時陸送便を特別運行。
⇒　中部・関西まで翌日、中国・四国・九州は翌々日の配達

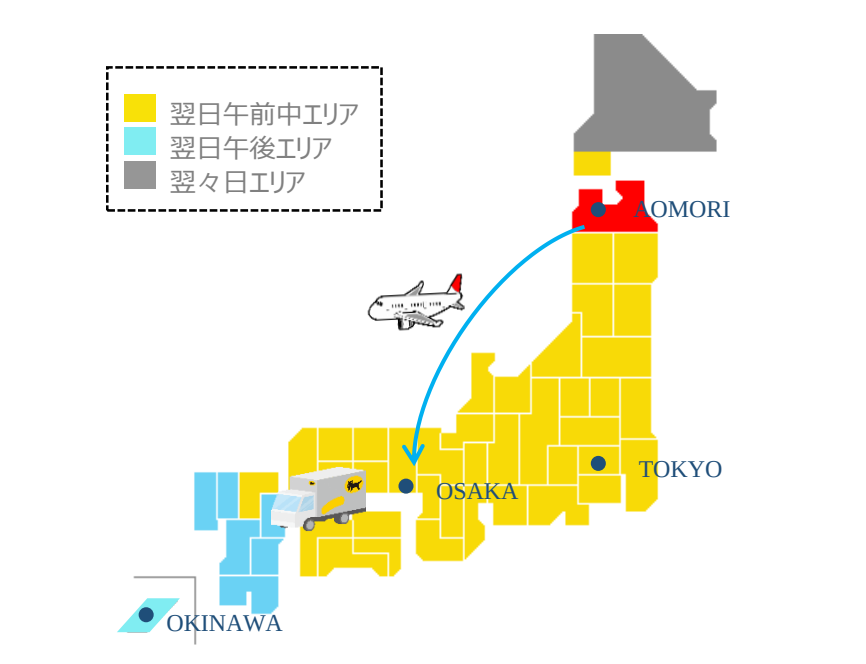
●令和５年６月より、物流業界の2024年問題に対応するため、臨時陸送便で運用していた<u>西日本への翌日便は廃止。</u>
⇒　<u>西日本へは**翌々日**の配達</u>



６－２　Ａ！Premiumの輸送スキーム（西日本翌日便の復活）

令和７年５月～

●令和７年５月１日から青森ー伊丹便（ＪＡＬ）の活用により西日本への空路での輸送復活。
⇒　中部・関西・中国・四国と福岡県は**翌日午前中**の配達
⇒　九州（福岡県を除く）、沖縄本島は翌日午後の配達



復活を記念した取組

●５月１日に青森市の洋菓子店、有限会社アンジェリックの看板商品である焼きたてのアップルパイを、大阪の大丸松坂屋百貨店梅田店で同日14時から販売予定。
●同店の焼きたてアップルパイを大阪で販売するのは今回が初めて。